

神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062
メール:nenkinkanagawa@nifty.com

12月28日現勢 組合員 8,816名
機関紙 5,351部
年金改善署名 54,930筆



神奈川県版 第242号 2009年1月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20協立第3ビル
TEL.03(5978)2751 FAX.03(5978)2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第3種郵便物認可

この春県本部9500人を実現

2月24日～25日

全県支部活動交流集会開く

昨春秋の仲間づくり月間は、全支部の奮闘で225人の実増を成し遂げ県本部8816人に到達しました。12月15・16日開催の第23回中央委員会では、埼玉県本部が8500人の目標を突破するなど、全国で9万人を超え、6月開催の第19回全国大会までに10万人達成を確認しました。

県本部では1月20日の県本部委員会に向け、秋の月間総括と春の月間方針づくりを進めていきます。方針の柱は一日も早く9千人を突破し、春の月間(4月1日から6月25日・中央本部大会まで)で必ず9千500人県本部を建設する。そのために全支部が秋の月間総括を深め、それぞれの地域で高齢者の要求実現のため、いつまでもに高齢者人口比率1%の支部を建設するのかが明確になります。2月24日～25日、全県



数こそ力 存在感のある組合に

県本部執行委員長 田島 茂

新年を迎え、新たな抱負を抱かれたことと思います。昨年は消えた年金の回復、後期高齢者医療制度の廃止、最低保障年金をはじめ年金制度の改善など、多彩な要求運動と、文化レクなど楽しく助け合いの運動、さらに仲間づくりの運動と本当にご苦労さまでした。高齢者は社会保険料、医療費など大幅な負担増に苦しめられています。その上、物価の高騰で生活は危機状態になっていきます。今年「生活危機突破」を軸に、物価に見合う年金引き上げの運動や、介護保険の改悪・消費税増税など税制改悪反対の運動が求められます。人生充実の文化サークル活動もますます重要になります。県本部はこうした運動と結合し、9500人の県本部実現へ仲間の輪を広げたいと思っています。「数は力」です。思いっきり拡大し、地域に存在感のある頼りになる組合を作りましょう。

年金3%アップ要求

第23回中央委員会で決定

第23回中央委員会が12月15、16日、東京で開かれました。会議では年金者、高齢者の深刻な生活危機突破のために、画期的な4月以降、年金3%引き上げの旗を掲げてたたかうことを満場一致で決めました。



19回大会までに10万人めざす

支部活動交流集会を開催し、とことん意志統一を行って、目標達成への確信を持ち合うようにはします。全支部複数の参加と積極的な発言の準備をお願いします。(県本部土志田公佳書記長)

県下40番目の支部に

横浜西支部が誕生

「行政区ごとに支部を」の県本部方針に沿って、隣接する神奈川県支部所属だった西区在住組合員38人が「横浜西支部」を結成し、12月7日午後、浜建労西支部会館で発足総会を開きました。総会は、田島委員長から激励と新支部旗を贈られ、「仲間づくり」など5項目の活動方針、初代執行部を決め、総会宣言のあと、自己紹介、うたごえなどで懇親しました。西区の高齢者率(65歳以上)は横浜市18区中4番目。MM地区や横



消された年金の回復 早期完全解決を要求

「保険料を納めていればやがて年金となって老後の生活を支えてくれる」と信じていたところ、ところが社会保険事務所で欠落が発見され、消えた期間の年金は直ちに回復されるところでしたが15ヵ月待ったが回答がありません。「生きていくうちに戻すべきだ」との訴えに職員は「大丈夫です。遺族の方に払いますから」と平然と答えました。職員の教育はどうなっているのか。12月5日の厚生労働省交渉では参加者の怒りと切実な声が続きました。年金は命綱です。こんな状態を長年放

(竹中健治副委員長)

仲間も増える

支部 古布

いと人が集まります。また来た人が友達を誘って来て、最初は見学で次から組合に加入してもらいます。

な縫ってみたいと思うし、手持ちの生地をどのような服にしようかと、話し合いながらアイディアを惜しまずに出し合うのがとってもいいところ。教室の半日があつというまに過ぎてしまいます。会費は100円。

「楽しく踊って健康に」輪踊りハッピーは中高年の運動不足解消にと昨年9月に発足。現在約15人が参加しています。炭坑節、七夕音頭などを踊り、八木節にも挑戦。うまくなったら地域や市の盆踊り大会にも出ようという張り切っています。



人気を呼んだ古布ファッションショー

(平塚支部 原理代)

7年間のまとめで色紙に記念の書 伊勢原習字サークル

伊勢原支部習字サークルで、08年のまとめとして自分で文字や言葉を選んで書いてもらいます。

紙を選んで色紙に書きました。みんな色紙に書くときは緊張して真剣そのもの。お手製の消しゴムハンコを先生に押ししてもらおうと、文字が一段と引きまわりました。先生を囲んで記念写真を撮り思い出を増やしました。

(伊勢原支部 馬場幸子)



立派な出来映で満足

いと弱小支部ですが、これからも「楽しくなければ年金者組合じゃない」をモットーに頑張りたいたいと思っています。

(藤沢支部 矢野和男)

年と最も歴史も長く大きたサークルは「歩く会」です。交通費が往復千円程度で済む所、トイレの設備がある所を探して計画してきました。

摩方面、高尾山、鎌倉など、8月と12月を除いて毎月実施するため、同じ所も何度となく行きます。最近参加者の高齢化も進み公園などは体力的に若く、支部行動の先頭に立ち、今まで支部役員を引き受けてくれた人が少なくありません。

(多摩支部 阿部進)

山歩きは女性が主役

旭支部山歩き・歩く会

旭支部山歩き・歩く会は2005年10月に3人で発足しました。当初は山歩きの会だったのですが、参加者が少ないので多くなると町ウオークを含む月4回実施を基本に山歩き2回、公園・史跡めぐりなど2回が定例です。

月参加者数は40人前後です。12月末で128回実施となり、最近の例会には新組合員の方の参加が目立つようになり、山歩き会は女性が多く、町歩き会は男性が多いのが特徴です。

楽しく語り合い、励ましあい、誘い合い、仲間増やしにも貢献していきたいと考えています。

(旭支部 藤村勝利)



(旭支部 藤村勝利)

車の送迎が喜ばれる 毎回80人もの愛川童謡の会

3年前「童謡をうたう会」の会場を替えた頃は広すぎると思っていたのですが、年金者の会員が増えることも、メンバーが増え続け12月のうたう会では、過去の最高89人が参加しました。当日は立錐の余地もないほどの超満員で、ジャンルベルやスキーの歌などで、和気あいあい

と今年を歌い納めました。この運動のよき協力者、ピアノの先生に恵まれていることが「年金者の会」にとっては大変幸せなこと。最近、ご主人を亡くした女性が元気をもらったと大変喜んでいました。

また認知症ごみのお母さんを連れてきた娘さんは、歌集を見ながら一生懸命歌っている母親の姿に感動。よその歌声喫茶や合唱に参加している男性も体力の続く限り参加したいと言っています。

交通機関が不便な町のため、世話役がマイカーで4〜5台を用意して送迎をします。体の不自由な人も参加

心に沁みる

調べに愛着

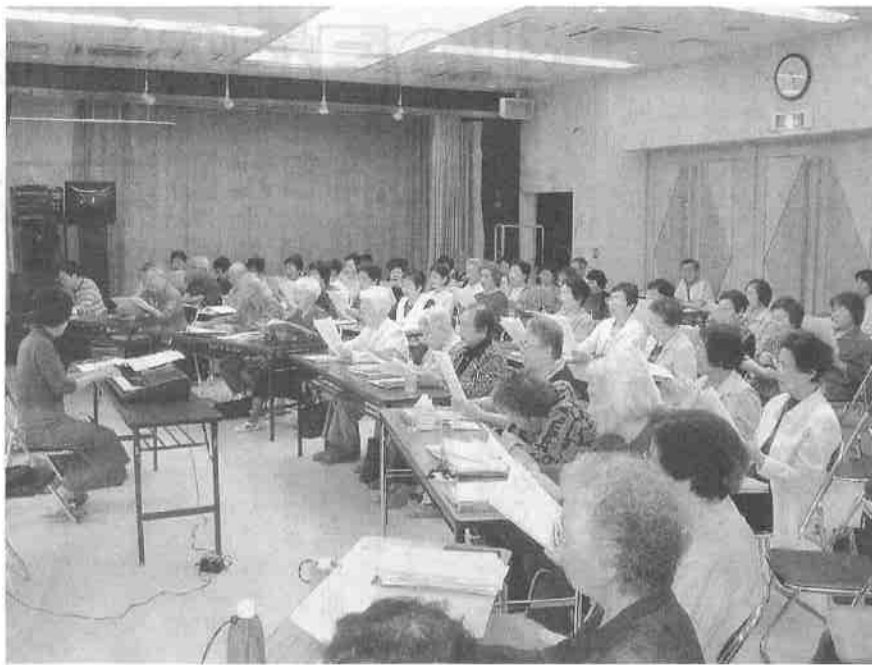
高津支部大正琴の会

年金組合の趣旨など知りませんでした。その組合に入ったのも趣味のサークルで大正琴があるとの事で加入した。以前から指で引くもの何でも好きでこの思いでやすらぎの調べを奏でる大正琴。哀調叙情を含む音色は心に沁み入り、それに魅せら

指使いは大変に難しく、音符の上に書かれて指を動かさなければなりません。間違っていると音程が狂います。「しまった」と後悔が度々ですが、脳の活性化に最適と思っています。

稽古を重ねてホームへの慰問、また発表会があり、雰囲気は華やかで心地よいものです。月間の区切りもつき外出のため身だしなみに気を遣うことは一番絶えず緊張が走ります。特に若さを取り戻せる秘訣の第一歩、若さ元気の源となるのかなあ。これからは頑張らなくちゃと思います。

(高津支部 藤村勝利)



先生にも恵まれ会場いっぱいの参加者

秋の目標を達成 活気に満ちたお誕生会

— 三浦支部女性の会 —

県女性の会

役員だけでなく、地域の方々も参加し、女性ならではの

昨年、「さわやか女性」のつどいを大きく成功させた中で、津久井支部、港北支部が女性の会を結成しました。

みんなの力で 全支部に女性の会

県本部副委員長 松川千恵子

の悩みや願いを話し合える、楽しめる、一人一人を大切に場所づくりが求められています。

1月30日には県女性の会新年会・総会を、2月には恒例の「仲間ふやし」泊支部交流集会を開催します。共に楽しみ、共に学び、全県の女性が手をつなぎ合い、熱いロマンをつむぎます。



女性の会は本年15周年をむかえますが、10周年以降、11支部に新たに女性の会が誕生しています。本年は、15周年記念旅行、記念誌の作成も視野に入れています。

14年前12人で出発した支部も仲間が増えたと共に、これらにならぶように成長し、変わっていくのかしらと夢見るこの頃です。

長が自分の体験を交えた年金者組合の歴史や最低保障年金制度について話されました。

提案で次々に弾みがつく 横浜みなみ女性の会が総会

横濱みなみ支部は12月6日に第5回女性の会総会を行いました。

当日は会場いっぱい31人が参加し、お孫さんを連れて参加してくれた人もいました。

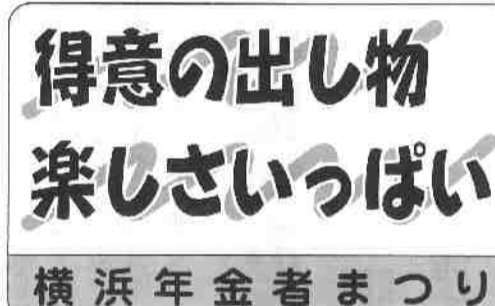
30年間走り続ける
盲人ランナー 上杉さん

磯子支部の上杉博さん(72)は、日本障害者マラソンの草分けとして活躍してきました。

視覚障害者というハンディキャップを乗り越えて走り続け、国内で盲人トップランナーにランクされました。

得意の出し物
楽しさいっぱい
横浜年金者まつり

12月13日、第13回横浜年金者祭りが横浜市市民会館で開かれ、200人余り



次々の熱唱に拍手

県本部結成20周年記念
第4回文化・作品展
期日：09年4月21日(火)～4月27日(月)
会場：かなっくホール (JR東神奈川駅下車1分)
展示品：絵画、書、写真、彫刻、手芸、他
搬入 4月21日(火) 10時～12時
搬出 4月27日(月) 15時～
申し込み方法、出展料などについては別途お知らせします。



元気で走る上杉さん

視覚障害者というハンディキャップを乗り越えて走り続け、国内で盲人トップランナーにランクされました。

12月13日、第13回横浜年金者祭りが横浜市市民会館で開かれ、200人余り

各支部で定期大会が開かれ、新しい役員が決まっています。順次、新3役を紹介していきます。

- ### 各支部の新しい3役
- 鶴見支部
 - ①小野健児 ②梶田文也、
 - ③杉村幸子、佐々木和子
 - 黒沢礼子。
 - 横浜西支部
 - ①長谷川径弘 ②石塚一雄 ③小泉欣一。
 - 横浜中支部
 - ①柿澤康治。
 - 座間支部
 - ①佐藤一 ②飯島信行、
 - ③鴨居静秀。
 - 横須賀支部
 - ①原 達郎 ②新倉泰雄
 - ③長嶋清四郎。

神奈川年金者文芸

(川柳) 旭支部 本間純根花
初日の出テレビで拝む寝床より
妻の悪癖除夜と一緒にグアと来た

横須賀支部 山田 良夫
電話口母に言えずの派遣切り
病む国の壁崩したい丑の年

旭支部 毛利やすひこ
米国発世界不況をどうチェンジ
履歴書を書く気も失せてニート寝る

(俳句) 川崎麻生支部 阿部 和子
新玉や輝き通せ望月の
年新師と歌う第九シンホニー

横浜北支部 吉田 一夫
朝まだき露に煙る灯一直線
煩惱の去らぬ人が除夜の鐘

平塚支部 寺田 公明
急かされて猫めし喰らう年の暮れ
平塚支部 坪井 稔恭
冬帽を目深に世間の風をさけ